

新型コロナウイルス関連海洋安全保障情報（2020年9月1日～9月30日）
（2020年10月19日現在）

本項は「海洋情報 FROM THE OCEANS」において収集・発信している海洋安全保障情報の中でも、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連した海洋安全保障情報を取りまとめたものである。本項は公表された情報を海洋政策研究所が要約して作成したものであり、情報源を括弧書きで表記するとともにインターネットによるリンク先を掲載した。また、リンク先 URL はいずれも当該記事参照時点でアクセス可能なものである。

なお、本件関連情報については COVID-19 への対応そのものをテーマとした論考が減少傾向にあることから、前回から毎月1回の掲載としている（次回は11月10日前後に11月分として掲載予定）。

(1) 9月4日 How China Strengthens the Quad (The Diplomat, September 4, 2020)
(<https://thediplomat.com/2020/09/how-china-strengthens-the-quad/>)

The Diplomat, September 4, 2020

Rajeswari Pillai Rajagopalan

9月4日付のデジタル誌 The Diplomat は印シンクタンク The Observer Research Foundation (ORF) 特別研究員で宇宙・原子力部門責任者 Rajeswari Pillai Rajagopalan の “How China Strengthens the Quad” と題する論説を掲載し、ここで Rajagopalan は日米豪印4カ国戦略対話 (Quad) の基盤が安部首相辞任、Trump 大統領再選の不確実性などの要因から揺らいでいると言われる中でも、他ならぬ中国の国際社会に対する強権態度が Quad の結束を強める要因となっているとして、COVID-19 のパンデミックに際しての世界保健機構 (WHO) との関係に見られるような国際機関への影響力行使などがその象徴的な事例であると指摘している。

(抄訳掲載予定)

(2) 9月8日 A China-Centered Order Is Not Inevitable (The Diplomat, September 8, 2020) (<https://thediplomat.com/2020/09/a-china-centered-order-is-not-inevitable/>)

The Diplomat, September 8, 2020

Valérie Niquet, Walter Lohman

9月8日付のデジタル誌 The Diplomat は仏シンクタンク The Fondation pour la recherche stratégique アジア部門責任者 Valérie Niquet と米シンクタンク The Heritage Foundation アジア研究センター責任者 Walter Lohman による “A China-Centered Order Is Not Inevitable” と題する論説を掲載し、ここで両名はこれまで言われてきた中国の台頭と国際政治の焦点のアジアへのシフトという見方は、他ならぬ中国が COVID-19 のパンデミックに際して示した姿勢がグローバルな政治的リーダーシップにおよそふさわしくない

ものであったことから急速に支持を失っていると論じている。

(3) 9月14日 China as a Faltering Contender (Real Clear Defense, September 14, 2020)
(https://www.realcleardefense.com/2020/09/14/china_as_a_faltering_contender_577274.html)

Real Clear Defense, September 14, 2020

Andrew A. Latham

9月14日付の米オンライン防衛関係ニュースサイト Real Clear Defense は米国際政治学者 Andrew A. Latham の“China as a Faltering Contender”と題する論説を掲載し、ここで Latham は一般に言われているように米中衝突は台頭する中国による米国への挑戦という構図のみならず、歴史の教訓（ドイツ、日本の事例）から衰退する勢力側に起因する紛争というシナリオも考慮しておく必要があると論じる中で、その契機としては「一带一路」政策の停滞、香港に対する強権的な国家安全法適用と並んで COVID-19 対応における「医療ソフトパワー」の発揮の失敗もその一つの要因となったと論じている。

(4) 9月17日 Rise of the Minilaterals: Examining the India-France-Australia Trilatera
(The Diplomat, September 17, 2020)

(<https://thediplomat.com/2020/09/rise-of-the-minilaterals-examining-the-india-france-australia-trilateral/>)

The Diplomat, September 17, 2020

Rajeswari Pillai Rajagopalan

9月17日付のデジタル誌 The Diplomat は印シンクタンク The Observer Research Foundation (ORF) 特別研究員で宇宙・原子力部門責任者 Rajeswari Pillai Rajagopalan の“Rise of the Minilaterals: Examining the India-France-Australia Trilateral”と題する論説を掲載し、ここで Rajagopalan は印豪仏の三カ国協力に象徴されるミニラテラルな国際協調の必要性について論ずる中で、COVID-19 パンデミックの初期に見られた中国による国際機関（WHO）への不当な影響力行使などに対する不信感とその契機の一つになったと指摘している。

(抄訳掲載予定)

(5) 9月22日 Apart from ASEAN and China, international community and law are part
of South China Sea discourse (Think China, September 22, 2020)

(<https://www.thinkchina.sg/apart-asean-and-china-international-community-and-law-are-part-south-china-sea-discourse>)

Think China, September 22, 2020

Hoang Thi Ha

9月22日付のシンガポール中国問題専門英字誌 Think China は同国シンクタンク ISEAS-Yusof Ishak Institute, Researcher for Political & Security Affairs 特別研究員 Hoang Thi Ha の“*Apart from ASEAN and China, international community and law are part of South China Sea discourse*”と題する論説を掲載し、ここで Hoang は COVID-19 のパンデミックが中 ASEAN 間の南シナ海行動規範（COC）交渉を停滞させている中で、中国は南シナ海の現状は平穏であるとして米国をはじめとする域外国の関与を排除しようとしているが、ベトナムをはじめとする ASEAN の権利主張国はこれに反発し、中国批判を強めていると論じている。

（了）